

剣道初～三段形講習会及び形・実技審査会(要項)

形講習会・審査会(西三河全域)

日 時 令和6年11月3日(日)

午前9時開場 会場2階入口付近に集合(9時20分に閉鎖します) 受付時間ではありません
 講習会開始 午前10時予定(講習時間は2時間30分)
 審査会開始 午後1時30分予定(初段から順次おこなっていきます)
 審査終了した者から退館・解散してください。

会 場 東祥アリーナ安城(安城市体育館)
 安城市新田町新定山41-8 Tel 0566-75-3535

注)木刀は必ず各自持参のこと。不備は受審不可。
 木刀には鍔及び鍔止めを必ず装着し、鍔止めの劣化を確認してください。
 形講習会は、一から指導するものではありません。各自でも稽古してきてください。
 形の再受審者の合否は、別途通知いたします。(実技審査会の来場はありません)

実技審査会(西三河全域)

日 時 令和6年11月16日(土)

午前9時開場 会場入口付近に集合(9時20分に閉鎖します) 受付時間ではありません
 審査会開始 午前10時予定(初段から順次行います)
 合格発表は随時行う予定。合格発表後退館・解散してください。

会 場 西尾市中央体育館
 西尾市丁田町前通120番地 Tel 0563-55-0305

注)マスクまたはマウスシールドのどちらかを必ず着用のこと。不備は受審不可。

学科試験 <課題に対するレポートの提出の形式で実施します>

別紙の指定用紙「剣道学科試験課題」に必ず手書きで作成し、審査申込書と同時に提出すること。
 「剣道の訓」・「日本剣道形解説書」等を熟読して、答えを求めること。
 学科試験再受審者も同様に、審査申込書と共に提出すること。合否は別途通知します。

段 別	申込手数料	審 査 料 (形講習料1,000円を含む)	合格登録料	申 込 金 + +
初 段	1,000 円	3,200 円	5,500 円	9,700 円
二 段	1,000 円	4,300 円	7,700 円	13,000 円
三 段	1,000 円	5,400 円	9,900 円	16,300 円

受審資格 初段:申し込み時に1級を有し、平成23年(2011年)11月24日以前に生まれた者
 二段:令和5年(2023年)秋季以前の初段合格者(初段合格から修行年数1年以上)
 三段:令和4年(2022年)秋季以前の二段合格者(二段合格から修行年数2年以上)

申 込 み 申込時に上記段位審査に必要な申込金(~)を納めてください。
 合格発表後の登録料納付時の混乱、密集を避けるため申込金に登録料を含みます。
 不合格の場合、実技審査会の合格発表時に登録料を返金致します。
 受審希望者は各地区剣連事務局へ各地区締め切り期日までに申し込みをしてください。
 (各地区剣連事務局を越えて、個人の申込みは受付いたしません)

剣連締め切り 令和6年10月11日(金)

注意事項 1. 申込書は黒のボールペンで、丁寧(楷書)に記入してください。
 2. 申込書の所属団体欄には必ず所属(市)剣道連盟名を記入してください。
 3. 申込書の生年月日は西暦と和暦で記入してください。
 4. 会員証番号、全剣連番号、現在の級・段取得年月日、取得会場名を正確に記入のこと。
 5. 申込み後、審査日を含めず7日を過ぎた受審の取り消しは、合格・不合格確定日以降に
 登録料のみを返金します。(金融機関の振り込みのみ、振込手数料はご負担いただきます)
 6. 申込み後の「申込手数料」は、いかなる理由があっても返金しません。
 7. 各審査会には靴袋を持参し、各自靴の管理を行ってください。
 8. 午前7時の時点において西三河圏内のいずれかの地域に「暴風警報」が発令中の場合
 中止とします。なお確認は各地区剣道連盟へお願いします。
 称号・級位審査細則第19条に該当するものは、受審できません。

初 段 C

剣道学科試験課題

所属地区	西三河 剣道連盟		
愛知県剣道連盟会員番号	記号	番号	
氏名			男 ・ 女
生年月日	(西暦)	年	月 日

「剣道の理念」を書きなさい。

「剣道修錬の心構え」を書きなさい。

「日本剣道形」の太刀の形一本目を説明しなさい。

書ききれない時は裏面にご記入ください。

二段 C

剣道学科試験課題

所属地区	西三河 剣道連盟		
愛知県剣道連盟会員番号	記号	番号	
氏名			男 ・ 女
生年月日	(西暦)	年	月 日

「剣道の理念」を書きなさい。

しかけ技の種類と応じ技の種類を書きなさい。

「日本剣道形」の太刀の形四本目を説明しなさい。

書ききれない時は裏面にご記入ください。

三段 C

剣道学科試験課題

所属地区	西三河 剣道連盟		
愛知県剣道連盟会員番号	記号	番号	
氏名			男 ・ 女
生年月日	(西暦)	年	月 日

「剣道の理念」を書きなさい。

しかけ技と応じ技をつかう上で留意すべき点をそれぞれ述べなさい。

「日本剣道形」の太刀の形七本目を説明しなさい。

書ききれない時は裏面にご記入ください。